

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/10/03号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



ドル高と景気減速懸念で下値切り下げ

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル水準で上値の重い展開になった。為替市場で急激なドル高圧力が発生する中、ドル建てコモディティ相場は全面安の展開になり、原油相場も一時76.25ドルまで急落した。米長期金利が一時4%台に到達したことで、景気減速による需要不安、株価急落など投資環境の悪化も警戒された。ハリケーン「Ian」がメキシコ湾で発生し、原油生産にも障害が報告されたが、大きな問題にはならなかった。ただ、週後半はドル高圧力が一服したこと、石油輸出国機構（OPEC）プラスの追加減産に対する警戒感が下値を支えた。

9月20～21日の米連邦公開市場委員会（FOMC）後の米金利上昇・ドル高圧力の強さが、原油相場も下押ししている。インフレ対応の強力な利上げ政策に対する警戒感が強い。ドルインデックスは約20年ぶりの高値を更新している。また、金利急伸の影響で世界経済の減速懸念が強くなっており、石油需要に対する弱気見通しも上値圧迫要因になっている。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（9月23日時点）は、原油が前週比22万バレル減、ガソリンが242万バレル減、石油精製品が289万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

OPECプラス会合に注目、大規模な減産対応なら下げ一服

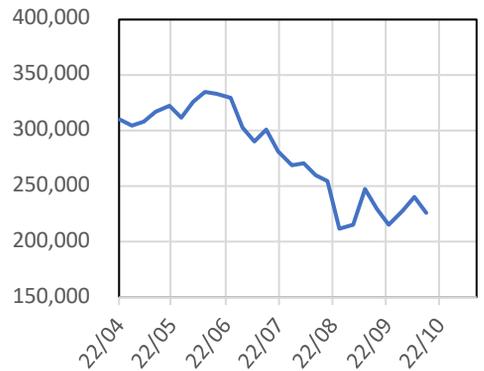
10月5日にOPECプラス会合が開催され、ここで強力な減産対応が打ち出されると下げ一服感が強まろう。前回会合では日量10万バレルの減産を決定したが、マーケットインパクトは限定された。原油安が続く中、OPECプラスは更に強力な政策対応を展開する見通し。

現状では、日量50万～100万バレルの追加減産を軸に調整が進んでいる模様であり、OPECプラスがこれ以上の安値を許容しない姿勢を明確化すると、80ドル水準が安値限界として意識され、80ドル台後半への反発が打診されよう。100万バレルを超える減産が合意されると、サプライズ感が強い。一方、既に100万バレルの数値が出ている以上、実際の減産量がこれを大きく下回ると、失望売りが膨らむ可能性がある。50万バレルでも売られるリスクがあろう。

一方、9月は急激なドル高と景気減速懸念を背景とした売り圧力が目立った。このため、10月入り後も更にドル高が進み、景気減速懸念が強化されると、戻りを売られるリスクを抱えている。足元では米金利・ドルがともに落ち着きを見せ始めているが、金融市場発の下落リスクに対しては引き続き注意が求められるよう。

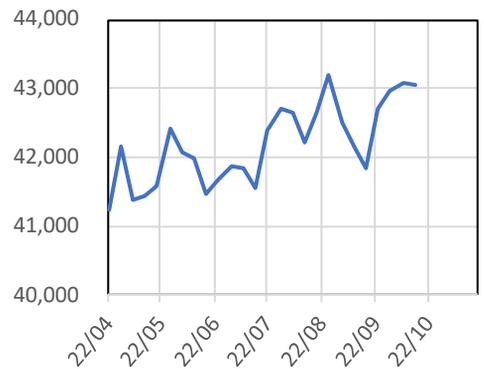
また、ウクライナ情勢にも注意が必要。ロシアがウクライナ4州の併合を宣言しており、同地区の緊張感が一段と強くなっている。西側諸国を中心に対ロシア制裁強化の議論が活発化しているが、ロシアは逆に欧州向けエネルギー供給を「武器化」して対抗している。主に欧州天然ガス市場で混戦がみられるが、エネルギー供給全体のリスクが再認識されると、原油相場も強含む可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



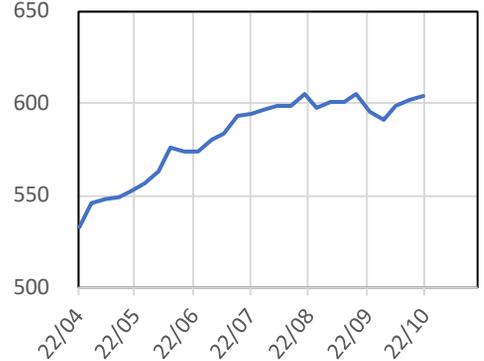
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

